



◆編集・発行：
ネットワーク・市民アーカイブ
http://www.c-archive.jp/

事務局
〒189-0012 東京都東村山市萩山町 2-6-10-1F
tel・fax：042-396-2430
E-mail：info@archive-tama.sakura.ne.jp

会員募集中

◆正会員 1口 6,000円、賛助会員 1口 3,000円/年
ゆうちょ銀行 振替口座 00120-9-729226
口座名：市民アーカイブ ※団体会員 2口～



2024年は市民アーカイブ多摩が開館して10年の節目にあたります。市民活動資料を収集・保存・活用してきた小さなアーカイブも、山あり、谷あり、さまざまな出来事がありました。

開館時にあたって建物の改修の設計を担っていた細谷悠太さんと9周年集会で講演いただいた岡部明子さんを迎え、この間に得られた体験と知恵を振り返り共有しつつ、これからの10年を見据えた夢を描く集会を開催しました。(記録・編集部)

◆10年の歩み・実践の蓄積

前半はまず、当会設立前史から現在に至るまで「市民アーカイブ多摩」の歴史を振り返りました。また、組織の変遷や他団体との協働の広がり、財政・資料数・入館者数の推移、10周年を機に本格化している法人化に向けた取り組みなど、現在の状況も共有

しました。

◇会員に支えられ 運営委員会を中心に

市民アーカイブ多摩を運営する任意団体「ネットワーク・市民アーカイブ」は、毎月1回開催する運営委員会で運営上の課題を検討してきました。会設立からは16年となり、その時々には必要となった部会(企画・広報・資料)やプロジェクト(設立構想・外部調査・普及啓発・法人化・募金・開館準備・長期計画・資料を読む・目録)、当番連絡会議などを立ち上げました。

開館当初の施設・消耗品整備、経過をまとめた『ようこそ！ 市民アーカイブ多摩へ』作成時、会計推移を見ると、岸中書庫整備の改修費や書架調達などがあったため、大幅な支出の伸びが確認でき

ます。時に助成金を申請したり、寄付金に助けられながら、会員数は14年度の115人から、23年度の166人と1.5倍に増え、会費が収入の半分以上を占めているのは心強いことです。

◇さまざまな団体との連携

また、現在の活動が、事務局を委託しているNPO法人市民活動サポートセンター・アソシエーション多摩や、建物を使用させていただいているNPO法人グリーンサンクチュアリ悠をはじめとして、さまざまな市民団体に支えられていることを確認しました。毎年市民組織などが運営する資料館訪問も継続しており、互いに交流しながら運営や整理などについて学んできました。

23年11月には、同じように市民活動資料の保存にかかわる法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ、立教大学共生社会研究センターと合同のシンポジウムを開催したほか、多摩地域の図書館・公民館・資料館の調査やヒアリングも行っています。

◇増え続ける資料

所蔵するミニコミは開館時に1159タイトルだったものが10年で2099タイトルと、市民アーカイブ多摩ではほぼ倍増したのは特筆すべきこ



とです。ミニコミだけでなく、図書・チラシ・パンフレットなど未整理の資料もたくさんあります。月6、7回(毎週水曜、第2・4土曜日)の定期開館が維持され、レファレンスや訪問・見学、さまざまな形での交流が日常的に行われていることが、資料の増加につながっているようです。

◇来館者数も増加

来館者数は着実に増加しており、特に多かったのは15年度(171人)と20年度(200人)でした。15年度は開館したばかりで、見学や取材が多く、20年度はコロナ禍で他施設が開鎖された中でも工夫しながら開館体制を維持